

平成21年度

白神八甲田緑の回廊における 動物生息状況調査取りまとめ報告書

西碓ヶ関山国有林720い1林小班内



津軽白神森林環境保全ふれあいセンター

1. はじめに

津軽白神森林環境保全ふれあいセンターでは、平成21年12月、「白神八甲田緑の回廊（平成13年度設定）」内の、西碓ヶ関山国有林720い1林小班内に、センサーカメラを設置し、動物生息状況調査を行い、その調査結果を取りまとめたので報告する。

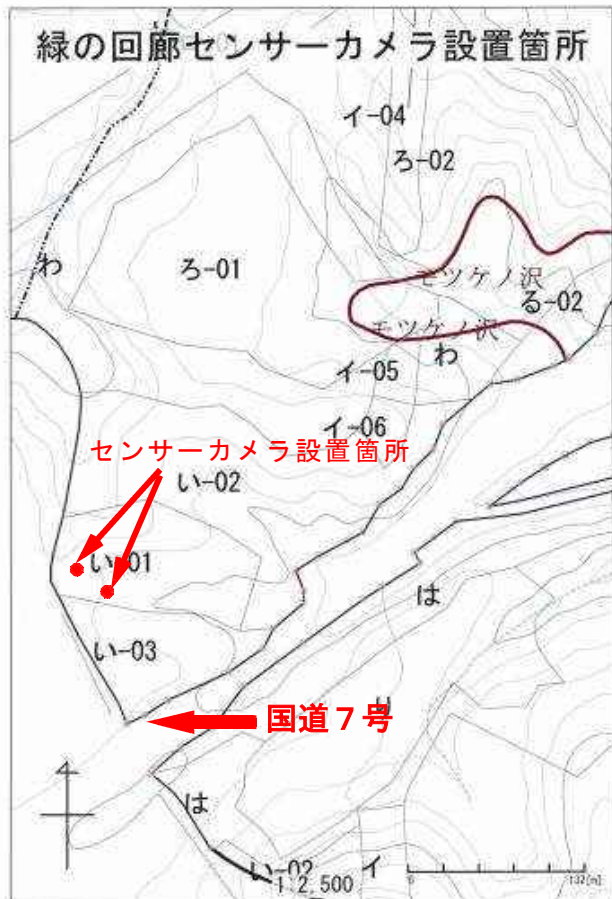
当該箇所は、青森・秋田県境沿いの青森県側であり、矢立ハイツの北西にあるスギ人工林57年生で、平成20年度に間伐した箇所であり、国道7号線から直線で約100mの場所である。

◎白神八甲田緑の回廊の概要

白神八甲田緑の回廊は、白神山地森林生態系保護地域から、奥羽山脈緑の回廊の八甲田・十和田湖周辺に至る、青森県と秋田県境沿いに約2km以上の幅で約50kmにわたって設定し、面積は約22,000haで、連結される保護林約18,000haを合わせると、約40,000haになる。

2. 調査日等

今年度は、第1回調査は12月1日～8日までの8日間、第2回調査は、12月9日～15日までの7日間行い、設置箇所は矢立ハイツ裏の車道から、約30m地点と約50地点の2箇所に2台ずつ設置した。



30m地点（誘因物：サバ水煮・バタピー・リンゴ）

自動撮影調査 記録用紙

津軽白神森林環境保全ふれあいセンター

東北森林管理局 津軽森林管理署

装置設置日 2009年12月1日
装置回収日 2009年12月8日

装置機種: フィールド・ノートDCs600・700
TOUGH-8000
誘因物: サバ水煮(缶詰)、バタピー、リンゴ
標高 270m~290m

林小班 西碓ヶ関山720林班い1小班
方位 南東
森林タイプ: 人工林
手前餌有り2

林齡: 57年生

〈現地調査〉

月 日	時刻	天候	枚数	痕 跡	備 考
12月8日	11:50	曇り	27	明瞭な痕跡は残っていない	餌は全く残ってない

〈写真解析〉

No.	月日	時刻	確認種	備考
1	12月1日	14:49:16		
2	12月2日	2:59:40		
3	12月2日	15:15:10		
4	12月3日	3:31:08		
5	12月3日	15:46:50		
6	12月4日	4:02:36		
7	12月4日	11:52:00		
8	12月4日	11:53:40		
9	12月4日	16:18:44		
10	12月5日	2:39:26		
11	12月5日	4:35:06		
12	12月5日	5:44:00	タヌキ	
13	12月5日	5:54:08	タヌキ	
14	12月5日	5:54:20	タヌキ	
15	12月5日	15:34:26	タヌキ	
16	12月5日	15:34:46	タヌキ	
17	12月5日	15:35:00	タヌキ	
18	12月5日	15:38:16	タヌキ2匹	
19	12月5日	15:39:52	タヌキ2匹	
20	12月5日	15:40:40	タヌキ2匹	
21	12月5日	16:52:24		
22	12月6日	5:07:44		
23	12月6日	17:23:16		
24	12月7日	5:39:22		
25	12月7日	17:55:20		
26	12月7日	23:42:58	ホンドテン尾	
27	12月8日	6:11:40		

No.	月日	時刻	確認種	備考



当該箇所では、タヌキが9回（うち、つがいで写っていたものが3回）とホンドテンの尻尾が1回確認された。

50m地点（誘因物：サバ水煮・バタピー・リンゴ）

自動撮影調査 記録用紙

津軽白神森林環境保全ふれあいセンター

東北森林管理局 津軽森林管理署

装置設置日 2009年12月1日
装置回収日 2009年12月8日

装置機種: フィールド・ノートDCs600・700
TOUGH-8000
誘因物: サバ水煮(缶詰)、バタピー、リンゴ
標高 270m~290m

林小班 西碓ヶ関山720林班い1小班
方位 南東
森林タイプ: 人工林
奥餌有り3

林齢: 57年生

〈現地調査〉

月 日	時刻	天候	枚数	痕 跡	備 考
12月8日	11:50	曇り	39	明瞭な痕跡は残っていない	餌は全く残っていない

〈写真解析〉

No.	月日	時刻	確認種	備考
1	12月4日	12:12:08		
2	12月4日	18:14:24		
3	12月4日	18:18:42	アカネズミ	
4	12月4日	18:39:34		
5	12月4日	18:42:08	アカネズミ	
6	12月4日	18:51:02		
7	12月4日	19:04:36		
8	12月4日	19:04:48	アカネズミ	
9	12月4日	19:29:30	アカネズミ	ハ ^レ 死 ^一 食
10	12月5日	16:56:46		
11	12月5日	17:16:28	タヌキ	
12	12月5日	19:19:04	アカネズミ	
13	12月5日	19:52:38	アカネズミ	
14	12月5日	20:17:08	アカネズミ	巣穴に潜る
15	12月5日	20:25:52	アカネズミ	
16	12月5日	20:50:38		
17	12月5日	20:53:00	アカネズミ	
18	12月5日	21:04:12		
19	12月5日	21:06:38		
20	12月5日	21:19:20		
21	12月5日	23:34:50		
22	12月6日	0:35:02		
23	12月6日	2:09:52		
24	12月6日	2:37:00	タヌキ	
25	12月6日	2:58:48	タヌキ	
26	12月6日	6:11:56	タヌキ	
27	12月6日	6:12:08	タヌキ	
28	12月6日	6:12:24	タヌキ	
29	12月6日	6:14:04	タヌキ	
30	12月6日	6:14:14	タヌキ	
31	12月6日	6:21:00	タヌキ	
32	12月6日	6:21:14	タヌキ	
33	12月6日	17:14:30	アカネズミ	
34	12月6日	18:10:46	タヌキ	
35	12月6日	18:54:32	アカネズミ	
36	12月7日	23:58:52	ホンドテン	
37	12月8日	0:00:32	ホンドテン	
38	12月8日	0:49:54	ホンドテン	
39	12月8日	1:31:44	ホンドテン	



第1回調査の中で、当該箇所が撮影枚数及び確認種が一番多かった。(アカネズミ11・タヌキ11・ホンドテン4 計 3種26枚)

3. その他

以上のように、第1回及び第2回調査でも、50m地点での撮影枚数及び確認種が多くなっており、その周辺には獣道らしきものは確認できなかったが、平成20年度の間伐後で、トラクタ道など動物にとっては、歩きやすい場所である。

度々確認されたタヌキは同一のものと思われ、9日にリンゴを置いて約2時間後の午後1時45分に既にリンゴをくわえた画像が撮影されており、タヌキがまた同じ場所にあるのではと調べてきたのではと推測している。

また、タヌキがリンゴをくわえている画像から、餌については巣穴に持ち帰って食べていると考えている。

次に、今回はアカネズミが巣穴から出る瞬間（第1回調査では巣穴に入る瞬間）が確認され、同一地点にアカネズミが潜った穴らしきものを確認した。

今回の調査は、初冬に入ってから調査であったが、来年度は雪解け後から「自然再生モデル林」の動物生息状況調査と並行して行う予定である。